



令和初日深夜、婚姻届を提出しようとしてたくさんのかたが市役所を訪れました



市長コラム

# 日々初心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

## 令和元年スタート、希望あふれる時代に

平成から令和にかけての10連休、みなさんはどのようにお過ごしでしたか。あらかじめ旅行などを計画されていたかた、好天に誘われ近場の行楽地に出かけたり、あるいは自宅でゆっくりできたというかたもいるかと思えます。中には、医療や福祉、保育、商業施設や飲食業、ライフラインや警察、消防など休みがなかったり日頃よりも忙しい日々をおくったかたもいることでしょう。考えてみれば、こうしたみなさんの働きがあつてこそ私たちの生活が成り立っていることに改めて気付かされます。

さて市役所の仕事でいうと、令和初日の5月1日は午前零時の婚姻届の受け付けに始まりました。大晦日のカウントダウンよろしく真夜中から待ち構えていたカップルをはじめ、この一日で普段と比べおよそ15倍にあたる149件の婚姻届の届け出がありました。また、秋田市で受理した出生届の数から、5月1日に新たに八つの命が生まれることが報告されています。お子さんの誕生はそれだけで両親にとつて一生の記憶に残る出来事です。令和とともに誕生したというとしても末永く心に刻まれるのではないのでしょうか。

皇位継承に伴う一連の儀式に関するテレビを観ていると、天皇陛下が皇太子時代に秋田に行啓されたときのことなどもあれこれ思い出されました。市長として私は4度お目にかかっています。平成24年に第23回全国「みどりの愛護」のつどい、第15回全国農業担い手サミットinあきた、26年には第29回国民文化祭・あきた、そして29年の第53回献血運動推進全国大会の際は、皇后雅子さまもご一緒でした。いま改めて式典のおことばをかみしめると、災害で亡くなられたかたへの哀悼や、被害にあつたかたがたへのお見舞いの中に陛下のやさしさが

じみ出ていたように思います。特に国民文化祭開会式では、「東日本大震災以降初めて東北地方での開催であり、多くの困難に立ち向かっているかたがたに、文化の持つ力により夢と希望を与えるものとして国民文化祭が大きな役割を果たすことを期待している」とのおことばに大いに勇気づけられたことが今でも記憶に鮮明です。

秋田もいよいよ初夏を迎え新緑のまぶしい季節になりました。「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」といった句が自然に浮かんできます。「初物七十五日」などと、初物を食べるという言い伝えもあります。しばらくの間、さまざまな事に「令和最初」というフレーズがつくことでしょう。令和元年、秋田市も初物の縁起の良さにあやかり、初日の婚姻ラッシュを令和の初夢だけではなくぜひ正夢にしたいものです。

## 寄付寄贈

## ありがとうございます



プレート贈呈式に出席したみなさん

4月25日、「千秋公園さくらファンデ」に寄付していただいたみなさんへのお礼として、メッセージなどを記したプレート(銘板)の贈呈式を千秋公園内で行いました。

この寄付は、秋田市を代表する桜の名所として、千秋公園を次世代に引き継ぐという理念に賛同したかたからいただくもので、今回は、特典として、植樹した桜のオーナーになることができます。「さくらオーナー」も併せて募集していました。

【問】公園課 ☎(8888)5753

【寄付者】秋田県華道連盟、(以下はさくらオーナー)特定非営利活動法人子育て応援Seed、遠藤雅人さん、菊地重善さん、佐々木博美さん、鈴木昭夫さん、猿田馨さん、沼田典芳さん、武藤幸子さん、佐藤武碩さんほか1人は匿名



4月26日の目録贈呈式で。右から農林中央金庫秋田支店の横田博孝副支店長、穂積市長、佐藤孝哉教育長

今年も、農林中央金庫秋田支店から、市立の小・中学校の緑化推進活動の支援として、アサガオの種4千袋を寄贈していただきました。

【問】教育委員会総務課 ☎(8888)5803



5月8日の贈呈式で。(株)オンワード檜山の小水内 俊浩さん(右)と穂積市長。左は衣料品回収活動「オンワード・グリーン・キャンペーン」に協力した西武秋田店の山本 茂 店長

(株)オンワード檜山から、回収衣料品で作られた再生繊維によるリサイクル軍手1千双(組)を寄贈していただきました。軍手はクリーンアップ活動や環境関連のイベントなどで活用させていただきます。【問】環境総務課 ☎(8888)5702

### 会員募集中!

**J A・秋田市・男鹿市・潟上市  
がタッグを組み、地場産品を  
盛り上げます!**

J A秋田なまはげ管内の3市が連携し、「秋田中央地域地場産品活用促進協議会(通称「農家のパートナー」ネットワーク)」を設立しました。この協議会を通じて、J Aと3市がタッグを組みプロモーション活動などを行い、事業者のみなさんとともに地場産品の活用促進を図ります。

また、ともに活動する会員を今年で募集しています。入会を希望されるかたは、産業企画課へお問い合わせください。

☎(8888)5724

### おもな活動

首都圏の主要駅などでのプロモーション活動/道の駅など3市地域内での物販・PRイベント/県外で開催される物産展にかかる経費、商品開発などへの補助 など

### ◆事業者会員(年会費3千円)

対象▶連携地域内の事業者(農林漁業者、地場産品を活用する製造業者、地場産品を活用する卸・小売業者、地場産品を活用する飲食サービス業者)

### ◆賛助会員(年会費一口1万円)

対象▶事業者会員に該当しないが、連携地域内の産品全般の販売促進などで、地域産業の活性化に取り組むことに賛同する個人・団体